

国際取引効率化と市場拡大の実現

R6追加事例

事業者名：株式会社SumiX（宮崎県都城市北原町30-1）

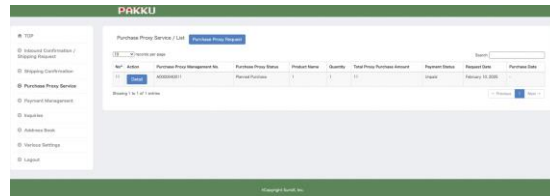
業種：情報サービス 従業員数：3名



目標 海外市場との直接取引とデジタル管理による国際取引の効率化と市場拡大

取組の概要

- 業務：貿易業務支援
- 目的：倉庫を活用したサービス開発の実現
- 技術・手法：貨物の預け入れ日、種類等のシステム管理
- 期間：R5.7.1～R6.2.3
- 費用：750千円



- 定量的な効果：
 - 出荷リードタイムの短縮：従来の平均30日間
→ 7日間（約77%短縮）
 - 確認・調整作業の時間削減：1回の取引あたり4時間
→ 1時間（約75%削減）
 - 書類処理の迅速化：従来は数日～1週間の遅延
→ 即日対応が可能
 - 取引コスト削減：仲介業者を介した場合と比較して約20%削減

取組の背景

- 抱えていた問題点
国内事業者で輸出に不慣れな事業者に代わり、輸出支援事業を行っていたが、価格競争に巻き込まれ、事業の安定性を欠いていた。
- 解決に向けた課題設定等
顧客層の拡大ならびに拡大後の効率的な管理が可能なシステム導入

取組の成果及び今後の展望

- 取組の成果について
海外のバイヤーと直接つながることで、バイヤーが必要としているものを当社に集め、一括して輸出ができるシステムを構築
- 今後、どのようにDXに向けて取り組んでいくか
設計したシステムを運用できるための設備投資を検討
海外輸入者が日本の商品を購入しやすいシステムを構築